



ポ プ ラ

学校教育目標「志に生きる」やる気 おもいやり たくましさ
生徒数 545名 教職員数 40名

生きることは挑戦すること！

校長 結城 正弘

暦の上では春になりましたが、まだ寒い日が続いています。風邪を引かないように気をつけて学年のまとめがしっかりできるようにしましょう。

平成29年度も残り1か月です。3年生の登校する日は、卒業式を入れてあと11日となってしまいました。中学校3年間で、たくさんの思い出ができたことと思いますが残りの日々、さらによい思い出ができると良いですね。

卒業までの生活を大切に、友達と本気で関わり、本気で勉強し、先生方と本気で語り合ってください。そして、たくさんのすばらしい思い出を胸に、卒業証書授与式に臨んでほしいと思います。

3年生のお蔭で、久喜中学校は素晴らしい学校になりました。ありがとうございます。そして、在校生の皆さん、3年生への恩返しとして今後さらに素晴らしい久喜中学校にしていきましょう。

今年度を振り返ってみて、生徒のみなさんの取組には、目をみはるものがありました。特に、体育祭やポプラ祭は大変素晴らしいものでした。準備・計画から当日の運営までしっかり取り組めました。そこで、皆さんが今考えなくてはならないのが、「有終の美」を飾るということです。「終わりよければすべてよし」という言葉もあります。ぜひ、最後の締めくくりを意識し、素晴らしいものにしましょう。そのためにも、もう一度自分の生活を振り返り、遅刻をしない、清掃をしっかり取り組む、授業に真剣に臨む、時間を守る……。意識して生活しましょう。特に3年生は、最後の中学校生活をどのように過ごすべきかしっかりと考えてみてください。

これから生きていく過程で、つらいこと、苦しいこともあるかとも思われますが、新古今和歌集の式子内親王（しきしなしいんのう）の歌の「山深み 春とも知らぬ 松の戸に たえだえかかる 雪の玉水」に見事に描写されているように、厳冬の後には、必ず温かな春がめぐって来ることを信じ、また、高浜虚子が俳句に表現したように「春風や 闘志を抱きて 丘に立つ」という気概と気迫をもって、何事にも挑んでいき、自分の人生を切り開いていってください。

生きるとは、限りなき挑戦であるからです。